

令和6（2024）年度 科目等履修生（博士前期課程）開講科目一覧

1. 共通科目

授業科目名	単位数	開講予定	最大受入人数	時間割	履修条件
看護管理・政策論	2	前期 (6月～7月)	3	土 3.4	1. 保健師、看護師、助産師としての看護実践経験が3年以上の者 2. 非常勤講師の都合により、多少変則的になる可能性あり（曜日の変更はない。）
病態生理学特論	2	前期 前半	5	火 1.2	1. 看護師の資格を有する者 2. 病態生理学に関心のある者
フィジカルアセスメント特論	2	前期 後半	5	火 1.2 一部集中講義あり	1. 看護師の資格を有する者 2. 臨地においてフィジカルアセスメントを実施した経験のある者
臨床薬理学特論	2	前期	5	火 5	1. 看護師の資格を有する者 2. 2年以上の臨床経験を有する者
看護実践研究論	2	前期	5	火 3	1. 実践経験が3年以上の者 2. 看護研究に関心のある者
コンサルテーション論	2	前期	2～3	水 3 一部集中講義あり	1. 保健師、看護師、助産師としての看護実践経験が合計3年以上の者 2. コンサルテーションに関心のある者 3. 2日間の集中講義（9～15回）すべてに出席可能な者
看護倫理	2	後期	2	火 4 講師都合により4～6曜の間に予定。連続コマの場合あり	1. 保健師、看護師、助産師としての看護実践経験が3年以上の者 2. 看護倫理に関心のある者
看護継続教育論	2	後期	2	水 1.2 講師都合により変更可能性あり	1. 看護師の資格を有する者 2. 看護実践教育の経験のある者 3. 卒後教育に興味関心のある者
地域医療論	2	前期 後半	5	水 4.5	1. 看護師の資格を有する者 2. 地域医療に関心のある者
地域調査法	2	後期	5	土 1.2.3	1. 看護師の資格を有する者 2. 地域調査に関心のある者

・共通科目は、在籍する学生の履修がない場合には開講されませんのでご了承ください。

2. 専門科目

分野	領域	授業科目名	単位数	開講予定	最大受入人数	時間割	履修条件
実践看護学	小児看護学	小児看護学講義Ⅰ*	2	前期	2	月 6	1. 看護師の資格を有する者 2. 小児看護の臨床経験が4年以上の者 3. 小児看護学への関心が高い者
	母性看護学	母性看護学講義Ⅰ*	2	前期	2	金 1	助産師の資格と助産師としての臨床経験を有していること
		母性看護学講義Ⅳ*	2	後期	2	木 1	
	精神看護学	精神看護学講義Ⅰ*	2	前期	2	金 5	精神保健領域の課題をもつ人の看護実践経験が3年以上であること（精神科に限定しない）
		精神看護学講義Ⅱ*	2	前期	2	火 4	
		精神看護学講義Ⅲ*	2	後期	2	火 1.2 一部日程変更の可能性有	
がん看護学	がん看護学講義Ⅱ*	2	前期	2	金 1	1. 看護師の資格を有する者 2. がん看護学への関心が高い者	
地域看護管理学	老年看護管理学	老年看護管理学講義Ⅰ	2	前期	2	月 6	1. 看護師の資格を有する者 2. 老年看護学への関心が高い者
		老年看護管理学講義Ⅱ	2	後期	2	月 6	
	地域看護管理学	地域看護管理学講義Ⅰ	2	前期	3	金 5	1. 看護師の資格を有する者 2. 継続看護を含む地域における看護実践への関心が高い者
		地域看護管理学講義Ⅱ	2	後期	3	金 5	1. 看護師の資格を有する者 2. へき地における看護実践への関心が高い者
	診療看護技術管理学	診療看護技術管理学講義Ⅰ	2	前期	2	金 5	1. 特定行為研修修了者が望ましい 2. 特定行為を含む看護技術の実践、提供体制づくりについて関心が高い者
		診療看護技術管理学講義Ⅱ	2	後期	2	金 5	1. 特定行為研修修了者が望ましい 2. 特定行為を含む看護技術の教育について関心が高い者

・*がついている科目は、科目責任者との事前面接を要します。

・専門科目は、在籍する学生の履修がない場合にも開講されます。

授業時間	1時限(8:50～10:20)
	2時限(10:30～12:00)
	3時限(13:00～14:30)
	4時限(14:40～16:10)
	5時限(16:20～17:50)
	6時限(18:00～19:30)